

# 平成29年度5月11日(木)総会・特別講演会

千鳥福祉会後援会総会を執り行い、総勢75名のご参加を頂きました。また、総会後には、川上裕治会長(松江土建(株)代表取締役社長)より、『夢を持つ大切さ』と題してご講演頂きました。(以下、一部を抜粋)

## 演題「夢を持つ大切さ」

講師:松江土建株式会社

代表取締役社長 川上 裕治氏

- ベクトルをそろえる  
組織の在り方として、理想は「個々が自由な発想を生みそれらが完全に調和している」こと。理想的な姿のためには「全員が共通の価値観を持つ」こと。
- 目標の必要性  
「目的」…概念的なもの。理念。会社が利益を上げるのも最終的には理念のため。(単なる利益重視では、やがて不正が起こることになる)  
「目標」…具体的なステップ。(小さくても)ひとつのゴール。夢。会社としての目標をつくり、目標を達成していくことが大きな目的(理念)の遂行となる。
- 目標に取り組む姿勢  
興味をもつ→夢をもつ→努力する→結果が出る  
あらゆる分野で「一流」と呼ばれる人は脇目も振らず努力する。強い願望・信念がなければ努力には結びつかない。
- 私のしごと  
作業<仕事<志事  
松江土建の現在の取り組み…社員教育重視
- 基本的なことの実践  
●あいさつをする●決まり事を守る●人に感謝する
- 目的の共有  
社長による研修などで、理念や行動指針を示す。  
→行動が変わると考え方が変わる
- 改善提案活動  
小グループで様々な業務についての改善案をつくり、貼り出したり社内SNSで掲載したりして評価し合う。→内容の優秀さではなく、沢山提案したグループを表彰する制度
- 長所をのばす  
その人が好きで・興味があり・夢中になれる・工夫やアイデアが湧いてくる・人より上手にできる分野をのばしていくこと。



新規会員のみなさんへ



松江土建株式会社  
松浦 孝夫

私は、松江土建建築部の松浦孝夫と申します。この度、千鳥福祉会様の後援会に、遅ればせながら入会させていただくこととなりました。宜しくお願い致します。

私どもの部署は、明るく挨拶ができ、コミュニケーション力を高め、悩みを溜めないよう何でも相談が出来る環境づくりを目指しています。当法人が地域との関わりを第一とお考えの「サマーフェスタ」には、是非孫を連れて参加させていただき、また、少しでもコミュニケーションを深める一助になればとの思いであります。そして、建築技術の見地から施設で生活される方にとって、より住みよい空間づくりへの提案が出来ればと思います。今後ともよろしくお願い致します。



松江土建株式会社  
舟木 章貴

この度ご縁がありまして、千鳥福祉会後援会に入会させていただく事となりました。松江土建株式会社の舟木章貴と申します。

今後、千鳥福祉会の皆様にお目にかかることがあるかと思いますが、いち早く「顔」と「名前」を覚えていただく様に頑張ります。

また、私は、昨年の「千鳥福祉会サマーフェスタ」に初参加させていただきました。そこで感じた事は、サマーフェスタに参加されている皆様がとても活気があり、心の底から楽しんでいる様に感じ、私も楽しませていただきました。

何かと不慣れなところがあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

Support News

# 後援会 便利会



2017.7/1. NO.32

社会福祉法人千鳥福祉会

〒690-0814 松江市東持田町1415  
TEL0852-24-8820 FAX0852-24-8825  
URL <http://www.tidori.org/>  
E-mail [chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp](mailto:chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp)

写真提供/多久和 宏明氏

## みんな輝くPiece。

会員の皆様には、お元気でお過ごしのことと、お慶び申し上げます。例年、6月には梅雨入りし、明ければ夏がやって参りますが、今年は5月の声を聞いた途端、初夏のような気候となって外気温が上昇し、身体がまだ暑さになれていないために、熱中症による救急搬送者が発生するなど、温暖化に伴うと思われる異常気象の傾向が顕著になって来たように思います。今年も6月上旬に梅雨入りしましたので、暫くの間、蒸し暑く、うっとうしい日々が続きますが、その後には、猛暑が予想されている本格的な夏がやってくるものと思います。皆様には、体調管理に十分留意され、お過ごしいただきたいと思います。

さて、今年も7月16日(日)には、例年より多くの方々から多くのご支援をいただいて、『みんな輝くPiece』をテーマとして、第16回目の「サマーフェスタ2017」が開催されます。

障がいの有無に関わらず一堂に会する人々が共に楽しみ、輝く時間と空間を演出して、大いに盛り上がり、また大いに楽しみ、地域の人々と深く交流できる、意義深いサマーフェスタになるものと期待しております。当日は、私もその場にいらっしゃる多くの人々と心をつなぐとともに、みんなが輝けるように支援したいと考えています。

後援会といたしましては、このサマーフェスタを共催し、企画・運営に積極的に参画し、支援していく所存ですので、会員各位には格別なご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



千鳥福祉会後援会  
会長 川上 裕治  
(松江土建株式会社 代表取締役社長)

今年の  
サマーフェスタは  
7/16(日)開催!  
テーマは  
"みんな輝くPiece"  
笑顔も楽しさも、原点!  
輝くみんなが主役です!

フリーマーケット商品  
ご協力をお願い!  
ご家庭などで眠っている  
食器類・雑貨類を  
7/12(水)まで  
お手数ですが千鳥福祉会へ  
ご持参いただければ  
幸いです。

※汚れ、使用不可能な商品は  
不可となります。



# 和幸電通株式会社

私たち和幸電通株式会社はお客様とのつながりを大切に常にお客様の立場に立ちながら、メーカーとの間にあって最新情報の正確な提供、最新技術によるシステム提案、アフターサービス、ことにお客様のニーズに100%応える電気・防災・情報通信設備の施工・メンテナンスを第一の責務と考えております。

IT革命ならぬIT活動(I:いざという時、T:たよりになる会社)を全社員に浸透せしめ、電気・防災・情報通信のスペシャリスト企業として一歩一歩着実に歩み続けています。

弊社は、今年創業48年目ですがその歴史を地元企業として地域社会の変遷と共に歩み、地域社会の振興、発展に少しでも貢献できるよう努力しております。

更に、和幸グループは今年創業100周年を迎えることができました、これもひとえに皆様方の温かいご支援とご厚情によるものと深く感謝しております。



グループ創業100周年記念事業の一つとして、島根県には、しまね社会貢献基金(子育てや社会教育の推進)へ松江市には、防災資機材購入に充てるものとして寄付金を寄付させて頂きました。



松江赤十字社による献血協力



会社周辺の奉仕作業



自動販売機での購入代金の一部を、社会貢献活動を行うNPO団体に寄付するプロジェクト「夢の貯金箱」に賛同し、「夢の自動販売機」を設置。

## 和幸グループマスコットキャラクター(ワコロウ)



和幸グループは『Fun to Share』に賛同しています。

Fun to Shareとは『地球温暖化対策の最新の知恵をみんなで楽しくシェアしながら、低炭素社会をつかっていこうよ!』という合い言葉です。ガマンしながら頑張るのではなく、低炭素社会を作ろうという発想です。それらの知恵をみんなで楽しくシェアして、賢い選択『COOL CHOICE』につなげていきましょう。という活動に賛同しており『COOL Biz』を実施中です。



みんなを照らす幸せの光いワコロウ  
ワコロウ Wakorou

暗闇でも目がよくきく=見えなところ(陰)から支えることからワコロウをモチーフとしました。首が360°回ることから皆様を見守る、安全・安心を表しています。

私たちは和幸グループの”和の精神”を出発点とし、組織のチームワークは個々が自らの役割を完全に果たすことであると認識し、猛烈なスピードで激しく揺れ動く時代の変化に、しなやかに即応していきたいと思っております。和幸グループが創業100周年を迎えられたのも皆様の『支える力』があったからこそだと思います。和幸電通もグループの一員としてこれからもお客様・地域社会・家族に支えられつつ次の100年を目指したいと思います。

# 千鳥福祉社会を支える後援会企業様、ご紹介特集。

## 島根電工株式会社 専務取締役 竹内 房雄



会社周辺の清掃を全員で行います

### 「地域との共生」

会社周辺の愛護清掃やクリーン作戦への参加など地域のボランティア活動に積極的に参加し、地域との共生に努めています。

### 社員同士のコミュニケーションが「会社を支える」

社内外の様々なイベントを通じて、社員同士のコミュニケーションの円滑化やチームワークの向上をはかっています。



S45年から続いている「大運動会」社員とその家族、関係者が総勢で1000人近く参加します。

### 先輩社員が「新入社員を支える」

新入社員が安心して仕事に取り組めるよう、先輩社員が専属で指導にあたります(B.B制度)。「先輩が後輩を教える」という当たり前を文化として定着させているところが当社の人財育成の強みです。



上段の先輩社員が下段の新入社員の指導にあたります。数年後にはこの新入社員が指導役となり、教えてもらったことを次の世代へつないでいきます。



### 小さな工夫が社員の「やる気を支える」

一人ひとりの成果や頑張りをこまめに評価し、また、お互いの感謝の気持ちを共有することで、社員のやる気を高める工夫をしています。



スローガンである”期待をこえる感動”を実践した社員を表彰する「感動大賞」



ありがとうメッセージの掲示

島根電工は「社員とその家族を大切に」経営方針のもと、仕事を通じて「自己実現の喜び」を実感できるような仕組みや文化を定着させています。